

超耐候性多目的コーティング材
パイロキープTS工法

磁器タイル壁・床改修工法
(目地防水強化・耐汚染・美装)
塗装仕様・施工要領書

平成 29 年 8 月作成

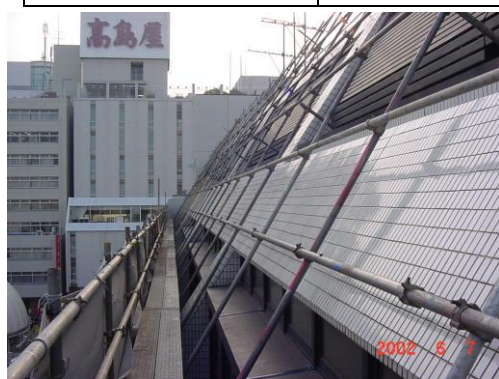
株式会社ビルドランド

パイロキープシリーズの特徴

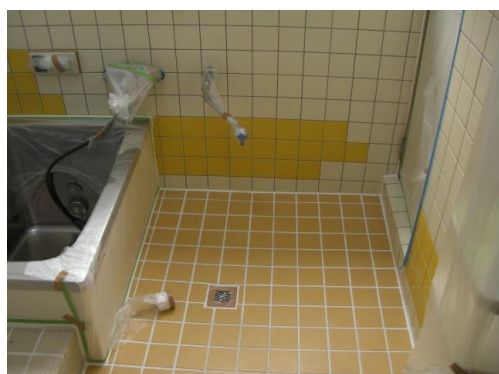
- ① 極めて耐候性の高い塗料です。
- ② 高架橋性塗膜の為、耐汚染性に優れます。
- ③ 極めて耐熱性、耐薬品、耐溶剤性、耐塩害性に極めて優れた特殊性があります。

1. 使用材料

品 名	成 分	荷 姿	用 途
パイロキープ TS2000 (クリアー・カラー)	チタン酸カリウム ウイスキー含有特 殊アクリル変成シ リコン	10kg セット (主材：7 kg/ 缶、硬化剤：3kg/缶) 4 kgセット (主剤：2.8kg/ 缶、硬化剤：1.2kg/缶)	下・上塗材



↑ (2枚)は広島市西区の大手プレハブメーカー様の磁器タイルクリア塗装経年写真9年目ですが、艶引けも感じられず綺麗な外観を維持しています。(現在は13年目ですが健在です)

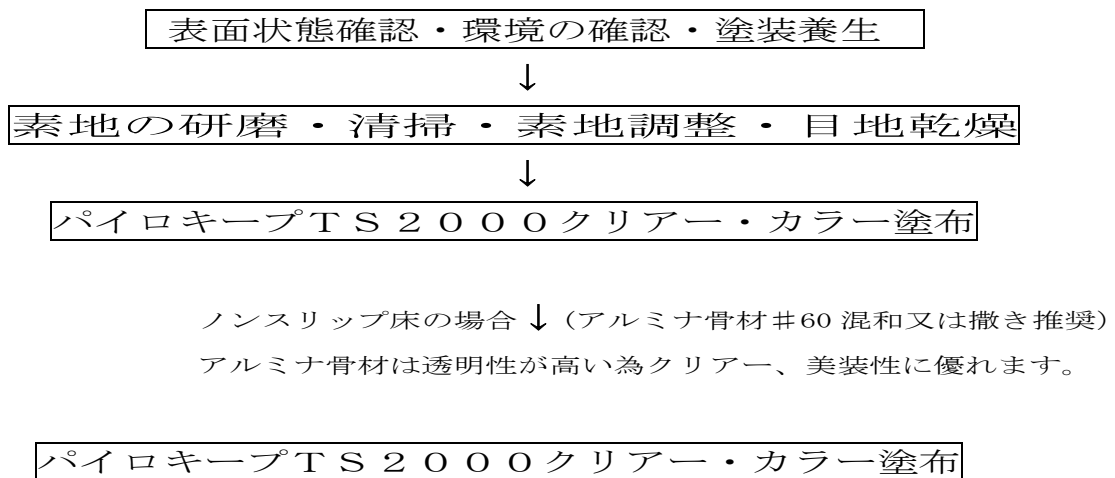


メーカー 株式会社ビルドランド

1. 商品名 パイロキープTS2000 各種
有機溶剤の種類 主剤・硬化剤：第4類第2石油類（キシレンを含む強溶剤）
規格 10kgセット・4kgセット

商品名 パイロキープ専用シンナー（キシレンを含む強溶剤）
規格 15kg・4kg

2. 1. 施工順序（壁面・床）



2. 2. 標準施工方法

工 程	使用材料名	施工方法	標準使用量 (kg/m ²)
下地前処理	ジスクペーパー クロスサンダー 電動工具 水洗機等	素地表面の汚れ、油脂類、ホコリを除去する。 金属素地は、錆び、汚れ、油脂類、ホコリを除去する。	—
下塗り	パイロキープ TS2000 クリア ー・カラー	規定の配合で混合し、刷毛、ローラー等にて均一に塗布する。 ※タイル目地にスプレー塗装した場合は表面に塗膜が乗る状態となり、均一な濡れ色にならずムラになりやすい、目地防水性の確保が不十分となりやすい等の理由により推奨しておりません。	0.12×2 回 (標準)

塗装器具：

パイロキープ塗料各種・・・刷毛・ローラー

磁器タイル床面の場合、表層を軽めのサンディング推奨。

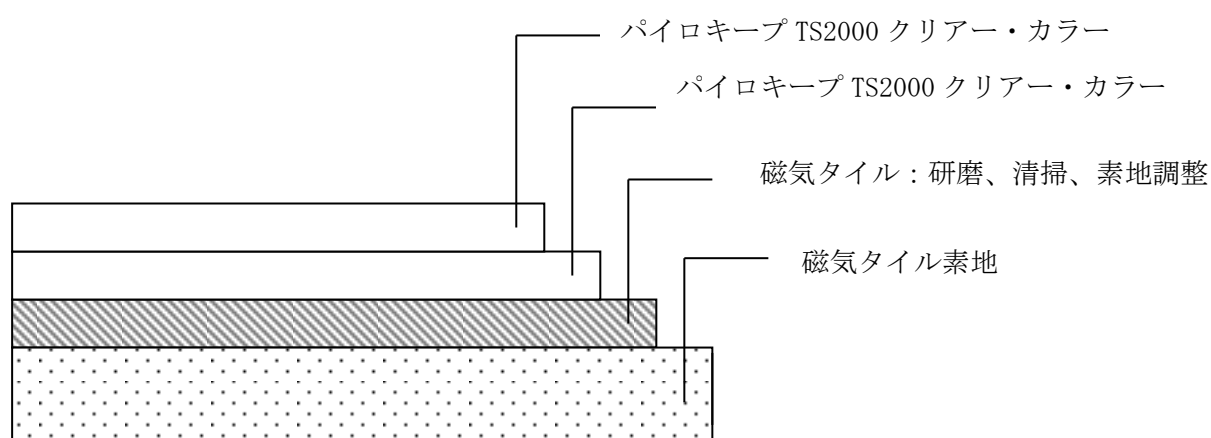
目粗しによりより強力な密着となります。

クロスサンダー細目（ディスクサンダー用）

ジスクペーパー等使用

3. 材料配合と施工仕様

工程	使用材料	配 合	標準塗装間隔 (20℃)	標準使用量 (kg/m ²)	希釈率 (%)
下塗り	TS2000 クリアー・カラー	主剤：7kg 硬化剤：3kg	6時間以上 4日以内	0.12× 2回 (標準)	5～15 (専用溶剤)



4. 施工上の留意点

4. 1. 施工前

パイロキープ施工前に素地調整層の表面状態および作業環境についてチェックする。

塗装方法に合わせた塗装養生を行う。

- ① 前処理、表面清掃が完全に行われ表面に汚れ・油脂等の付着が無い事を確認して下さい。
- ② 5℃以上の環境温度が確保されている事を確認して下さい。
- ③ 過湿状態での塗装（85%以上）は避けて下さい（透明度・艶が減少する場合があります）
- ④ 溶剤系塗料やシンナーを使用します。特に室内の場合は十分な換気、火気厳禁等厳守等の安全対策願います。

4. 2. 施工中

旧浮塗膜・脆弱塗膜のある場合は研磨により完全除去して下さい。

塗装面のホコリ、汚れ、錆び、油脂類等は除去して下さい。

TS2000 各種の塗布

気泡の発生防止

気泡は硬化後のピンホールやクレーター、ブツの原因になるため、以下のことを守り、泡の発生防止に努めて下さい。

主剤と硬化剤の混合する際はハンドミキサー等を用い低速で1分程度、静かに混合する。（攪拌不足は硬化不良や硬化時間遅延の原因になります）泡切りの為、攪拌後はネタを5分程度寝かせて下さい。

主剤と硬化剤の混和後は1時間程度で使い切れる量を（主剤70%対、硬化剤30%）の割合で混和して下さい。

使用残りの塗料への塗料追加、硬化を始めた塗料へのシンナー追加はNGです。

シンナー希釈は、ダレることなく刷毛目の出にくい希釈量をコントロールして下さい。

（目安）

ローラー塗装 10%±5

刷毛塗装 10%±5

ローラーを用いる場合：泡噛み、泡残りしやすいシリコンリッチの特殊塗料です。ローラー施工の場合、作業スピードは速いですが、ゆず肌・ブツ肌になりやすいです。口径の小さく（スモール）毛足の短いものを使用する。気泡が発生した場合、追っかけで、空刷毛・空ローラー等にて手返しし、泡を潰して下さい。ピンホールやクレーター、ブツが極力できないようシンナー調整し施工して下さい。

※ローラー塗装→手刷毛通しを同時進行で行えば最も精度の高い塗装となります。

塗り重ね時間（目安）

硬化時間は、気温・湿度・風通りにによって変わりますので注意して下さい。

気温が 10℃以下では硬化速度が極端に遅くなるので、硬化促進剤を用いて調整する場合があります。促進剤の添加量は 1～2%で使用して下さい。また、硬化促進剤を使用すると塗料のゲル化が早くなりますので、使用の際はポットライフ（使用可能時間 1 時間以内）を考慮して添加して下さい。（通常は使用しません）（別売）

塗り重ねのおおよその目安は、

5 ～ 9℃	・・・	8～24時間以上4日以内
10 ～ 19℃	・・・	6～8時間以上4日以内
20 ～ 30℃	・・・	4～6時間以上4日以内

タック切れ時間は気温が高い、日当たりが良いと早くなります。

タック切れ時間は風の通りが多いと早くなります。

タック切れ時間は湿度が高いと遅くなります。

※上に乗らない作業では TS2000→TS2000 はインターバルフリーの為ウエットオンウエット（タックのある状態での塗り重ね）可能です。但しダレの発生、刷毛を引っ張りやすくなりますのでその点にはご注意下さい。

その他（要領）

- ① ポットライフ（混合後の使用可能時間）は比較的短い材料です。混和後は 1 時間以内で使い切る様して下さい。（最大 2 時間）
- ② パイロキープの硬化後はどんな強溶剤に浸けても戻りません。使用後の刷毛・ローラーは速やかに十分に洗浄して下さい。
使い捨てになる場合が多いのでご了承願います。
- ③ 一回での厚付けは、発泡する・硬化が遅くなるなどのデメリットが発生します。規定量以上の厚塗りは NG です。

以上